

編集後記

◆先日、世界の穀倉地帯ウクライナの小麦畑に斜めに突き刺さる不発弾の映像報道に衝撃を受けました。ロシアの侵攻がなければ、間違いなく多くの人に食される豊かなチエルノーゼムの土で育ちつつある小麦は、今後どのような運命を辿るのでしょうか。そしてひまわ

りは、この地で、美しい花をどうれくらい咲かせるのでしょうか。
◆コロナによるパンデミックや、ロシアのウクライナ侵攻など、多くの人が予想し得ない状況が続いている。そのような危機対応に際しては、国際機関の存在意義が問われるところでありますが、その機能を充分に發揮し

ていても、正確な状況把握に基づき、関係者・専門家による多角的視点での要因分析の上、為政者が総合的に判断・決定した施策を、関係者の理解を得た上で実践していくことが肝要ですが、情勢把握のための関係機関の調査、データの妥当性・信憑性が疑われる事例報道

人事異動

<退任>

専務理事 近藤好弘
(6月17日付)

<新任>

専務理事 道下徹
(6月17日付、前参与)

DATA FILE

関連事項／DATA

北海道農政部

〒060-8588
札幌市中央区北3条西6丁目
☎ 011(231)4111(代)

北海道士幌高等学校

〒080-1249
河東郡士幌町字上音更21-15
☎ 01564(5)3121

一般社団法人 北海道地域農業研究所

〒060-0806
札幌市北区北6条西1丁目4番地2
ファーストプラザビル7F
☎ 011(757)0022
Fax 011(757)3111
HP : <https://www.chiikinouken.or.jp>
E-mail : office47@chiikinouken.or.jp

は、調査研究に関わる一人としては、誠に残念です。また、協議経過の公開、施策の納得性やその周知についても充分とは言えず、早急な改善が強く望まれるところです。

◆日本では、「八百万の神」が信じられ、一〇月に出雲に集まるとしています。これまで、それぞれの神が担当界での一年の出来事をしつかり見聞きし、他の神々とともに森羅万象を総合的・俯瞰的に分析し、これらの取り組みを話し合い、皆に知らせた上で、時代の流れに応じて動いていくことが繰り返されてきたのでしょうか。

◆今の状況においては、一人一人が命宿る小さな神として振る舞う気概が求められているのかかもしれません。

(及川敏之)